

保護者負担軽減計画について

<京都市提出資料>

学校名	京都両洋高等学校
所在地	京都市中京区壬生上大竹町13番地
電話番号	075-841-2025

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>校名「両洋」の由来である「東洋と西洋の架け橋となる国際人の育成」という理念のもと、日本と外国の文化を広く理解し、自主的・創造的な能力を養い、個性を生かして、国際社会で活躍できる人間を育成する。</p>																																										
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>本校の教育目標「生徒の高校生活3年間の中で社会に出て役立つ青年として育て次のステージに送り出す」という視点に基づく人間教育を目指し、次の4つのキーワード「自律・尊重・対話・創造」に拘り実践する。その教育の大きな柱として「7つの習慣J」というプログラムを実施し人間として豊かに生きるための原則を学びそれを学校生活の中で繰り返し行動する。</p> <p>1年次から進路学習等に取り組み将来を意識することで生徒の『夢』を『目標』に引き上げるべくサポートを行う。 Society5.0の現代に対応する人材を育成すべく、全員がiPadを携えて、全授業で活用し情報活用能力、言語能力、問題発見・解決能力の育成を図り、学習面では授業は勿論の事、放課後・長期休暇中補習を導入し進学実績向上を目指す。 クラブ活動も盛んで毎年多くのクラブ活動が全国大会に出場している。</p> <p>各コースの特色 S探究コース：6限授業で大学・専門学校・就職と幅広く個々の進路希望に対応。授業は基礎基本を徹底し基礎学力の確立を図ると同時に英検・漢検等の資格取得に取り組む。次の進路を見据え特色あるカリキュラムでキャリア教育の実践を学年進行で積上げ3年次は小論文講座にも取り組む。 Jキャリアコース：6限授業で授業とクラブを両立。放課後講座を受講して医療・健康系、情報・ITメディア系、初等・幼児教育系の大学や中堅私立大学及び公務員を目指す。 J進学コース：6限授業で授業とクラブを両立。その中に3種類の系があり、選抜進学系は国公立も視野に難関私立大学を目標とする。英語留学系は留学も体験し有名私立大学の外国語系・国際系学部を目指す。進学系は産近甲龍レベルの有名私立大学を目指す。 K特進コース：少人数のクラス編成で充実したカリキュラムのもと7限授業を行い、その後に課外講座も行う国公立大学を目指す。 ※日本語学習系：K特進コースを除く各コースに日本語学習系を設置し、海外にルーツを持ちながらも既に日本国内に在住する日本語を母語としない生徒を対象として当該生徒の能力に応じて日本語力向上と大学進学を目指す。</p>																																										
<p>(3) ・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり な</p> <p>・前回改定 令和 3 年度</p>	<table border="1"> <tr> <td>【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>考査料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>150,000</td> <td></td> <td>480,000</td> <td>168,000</td> <td>648,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td>【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>480,000</td> <td>168,000</td> <td>648,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>480,000</td> <td>168,000</td> <td>648,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料		150,000		480,000	168,000	648,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					480,000	168,000	648,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計					480,000	168,000	648,000	
【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	考査料																																					
	150,000		480,000	168,000	648,000	20,000																																					
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			480,000	168,000	648,000																																						
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																						
			480,000	168,000	648,000																																						
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>国の就学支援金、京都市内生ではあんしん修学支援事業もあり、私学に通いやすい環境になってはいるものの、保護者の所得によっては公立高校との学費格差は歴然と存在している状況下、本校としては一番に選ばれる学校となる為魅力ある学校づくりに取り組み、生徒数を確保することにより中長期的な安定経営に向けて日々尽力している。(但し、現在検討されている国の制度改革及びそれを受けて京都府の就学支援事業の動向に注視をしている。) その上で各経費を抑制しながら経営安定化の為の更なる努力を継続することにより納付金については値上げをせず据え置く努力を続ける。特に人件費においては教職員の定年退職等に伴い新たな雇用形態の多様化による工夫を実施している。更に校内のICT化をより加速させ会議・事務書類のペーパーレス化、消耗品等の削減に継続的に取り組む。その他、多岐にわたり継続的に経費削減をし、新たな要因のない限り納付金については値上げをせず据え置きたいと考える。但し、時代に対応した魅力ある学校づくりの為の教育環境の向上に係る経費については今後もメリハリをつけて傾注していきたい。</p>																																										
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>教育面では「7つの習慣J」を中心とした人間力教育に加え、職業観の醸成や目指す進路の明確化に向けて4つのコースの特色を活かし、生徒一人一人の目標の実現に向けてサポートをしている。全学年の全ての授業にiPadを取り入れ、教科を横断してSociety5.0の時代に即応した情報活用能力、言語能力、問題発見・解決能力を兼ね備えた人材の育成を図る。更に生徒会活動にも力を入れて、生徒が主体的に高校生活をより充実したものとできるように組織づくりをし学校全体の活性化の牽引役としたい。</p> <p>○施設面では授業を効果的に実施する為、全校内のWi-Fi化、全普通教室にプロジェクターを完備している。 ○令和6年度は本館・第一体育館のトイレを最新衛生機器を備えた仕様に刷新した。 ○2棟ある体育館を含め全館空調完備・照明のLED化を実現している。 ○第一体育館は1Fアリーナを含め室内温水プール 格技場 柔道場 トレーニングルームを完備している。 ○男女の硬式野球部では夜間照明設備のあるそれぞれの専用グラウンドを整備している状況に加え3階建の野球室内練習場を完備している。 ○文化系クラブでは、吹奏楽部は専用の室内練習場を整備すると共に、校外での演奏会での保護者負担の軽減を目的として楽器運搬車を保有している。又、ITS部(情報技術研究部)では高機能PCや3Dプリンター等を備え生徒達が楽しくクラブ活動に取り組める体制を整えている。</p>																																										
<p>(5) 令和6年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>本校独自の保護者負担軽減策として I. 学校活性化奨学生制度 (パターンA) (1) 高い向学心を持ち学校全体の学力向上に寄与する者「学業奨学生」 (2) 学業とクラブ活動を両立させ学校全体の活性化に寄与する者「クラブ活動奨学生」 ※学業・人物ともに優れた者で中学校長の推薦が必要。 K 特進コース K奨学生 入学金+校費全額768,000円給付(2年目以降校費全額648,000円) (入試成績上位者には奨学金+制服・制定品を給付) 全コース A奨学生 校費全額648,000円給付(3年間) B奨学生 校費半額324,000円給付(3年間) C奨学生 校費より168,000円給付(3年間) D奨学生 校費より120,000円給付(1年次のみ) II. 学校活性化奨学生制度 (パターンB) 入試当日の学科成績に応じ「特別奨学生」として認定 上記A~Dを給付 (英検に関しては取得級に応じて入試総合点に加算する) III. 兄弟姉妹在籍者奨学金制度 入学時に兄弟姉妹が在籍の場合、同一家族から双子が入学する場合1名に対し奨学金(12万)を給付 IV. 公的機関運動型授業料等就学支援奨学生制度 国・京都府等の修学支援制度に連動し、保護者負担の軽減を実施していく。</p>																																										
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>これまでと同様に学校の財務体質の強化、経営の安定化を図る施策を継続していくと同時に、生徒・保護者・地域社会に対して魅力ある教育活動、即ち進路目標の達成や人格の向上に向けてのより充実した学習内容と教育環境、時代に対応した学校づくりを目指し、生徒・保護者から一番に選ばれる学校となり、安定した学校経営が継続できるよう引き続き努力していく。また厳しい状況下にあっても、国の就学支援金・京都府経常費補助及び京都府あんしん修学支援事業の更なる充実の流れの中での施策によって、もし可能な状況となれば、保護者負担削減策の追加策定に取り組むことも検討していきたい。</p>																																										